

静岡県教育委員会

議事録

令和 7 年度 第 7 回定例
7 月 2 日（水）

静岡県教育委員会教育長 池上重弘は、

令和7年7月2日に教育委員会第7回定例会を招集した。

1 開催日時 令和7年7月2日（水） 開会 13時30分
閉会 13時42分

2 会 場 教育委員会議室

3 出席者 教 育 長 池 上 重 弘
委 員 伊 東 幸 宏
委 員 小 野 澤 宏 時
委 員 天 城 真 美
委 員 飯 村 幸 生

事務局（説明員） 前 澤 綾 子 教育部長
小 野 田 秀 生 教育監
山 下 英 作 理事（統括・新図書館担当）
中 山 雄 二 参事（学校教育担当）
金 嶋 克 年 参事兼新図書館整備課長
高 林 伸 成 教育総務課長
白 土 達 夫 教育政策課長
櫻 井 澄 人 教育DX推進課長
上 原 啓 克 財務課長
鈴 木 憲 昭 教育厚生課長
横 田 恭 子 教育施設課長
秋 野 薫 義務教育課長
中 村 大 輔 高校教育課長
山 村 仁 特別支援教育課長
夏 目 伸 二 健康体育課長
小 竹 啓 功 社会教育課長
植 松 博 静東教育事務所長
菅 沼 晃 静西教育事務所長
持 山 育 央 総合教育センター所長
高 橋 健 二 中央図書館長

4 そ の 他

（1）第10号議案は承認された。

（2）報告事項は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、飯村委員にお願いする。

教 育 長： それでは審議を始める。

第 10 号議案 令和 8 年度高等学校学科改善

教 育 長： 第 10 号議案「令和 8 年度高等学校学科改善」について、中村高校教育課長より説明願う。

高校教育課長： <第 10 号議案について説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

伊 東 委 員： 建設デザイン科の英語の名称はどうなるのか。

高校教育課長： まだ検討していない。

伊 東 委 員： 高等学校の学科再編の際は英語の名称も考えておいた方が良いのではないか。

高校教育課長： 重要な御指摘に感謝申し上げます。早急に検討していく。

教 育 長： これまでも議論していたが、卒業の単位認定を英語で出すことも今後想定される。例えば生徒が外国の大学に行くこともあり得る。最終的には学校から提案していただく必要があるが、今後も学科改善の際には、正式な文書ではなくて良いが、英語名称も併せて、英語ではこのような表現を考えている旨を提案いただくのがよいのではないか。

高校教育課長： 承知した。

教 育 長： constructional design であるのか、construction and design の方が良いのかなど、学校で検討していただくことでよいか。

伊 東 委 員： 承知した。ネイティブチェックも受けてほしい。

教 育 長： 承知した。大事なことは、その下の類型での学びを的確に表した名称になっているのかという点である。そういう観点でも確認願う。

教 育 長： 他に質疑等はあるか。

天 城 委 員： 2つが1つになるとのことであるが、定員はどうなるのか。

高校教育課長： 定員は、募集計画を作る中で、全県の募集枠を検討し、その後学校ごとに割り振るため、現時点で定員について特に考えていることはない。

教 育 長： 他に質疑等はあるか。

全 委 員： (特になし)

教 育 長： 第 10 号議案について、原案のとおり可決することに異議はないか。

全 委 員： (異議なし)

教 育 長： 第 10 号議案について、原案のとおり可決する。

教 育 長： 以上で、本定例会の議事は全て終了した。

これをもって、令和 7 年度第 7 回教育委員会定例会を閉会とする。